

晴耕雨読

[Seiko-udoku]

2023年1月 vol. 47



CARE★STA

よもぎパンとメロンパンができました！



作りたいパンのご希望を伺って、メロンパンとよもぎパンを作りました。メロンパンのクッキー生地も美味しくできました。



▼山形の啓翁桜
桜を頂いたので、一足早いお花見です。



領収書の計算



「今日は何の日？」記入



洗濯物たたみ



精米



消耗品補充



玄関掃除

▼お仕事プログラム
利用者様のできることを奪わないよう、役割を持って生活できるように、様々なお仕事を用意しています。皆さんの得意なことや好きなこと、出来ることを教えてください。



食器洗い



テーブル拭き



洗濯物干し



名札片付け



食器拭き



モップ掛け

空き状況

月

火

水

木

金

土

1/31現在

1名

1名

2名

3名

1名

1名



作業療法士監修

一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス



生活リハビリとは？
「ご自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。」
テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者が現在できることは可能な限りご自身で行っていただき、また、少しだけ頑張ったという選択プログラムもご用意しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。
□様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。

認知症の人は、なじみの生活、生パン作り、バイキング、コーヒータン、ノルディックウォーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作の訓練を楽しみながら行う事ができます。

20種類以上の 選択プログラム

「なじみの作業記憶」を活用
認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやられてしまうことへの怒りを感じることがあるでしょう。一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていることがあります。認知症の人は、そうした「体で覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずすすみます。



▼畑・園芸



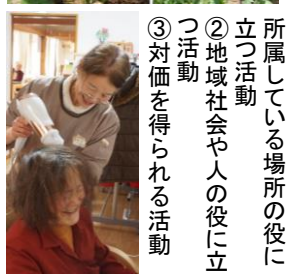
▼料理



▼薪割り・ご飯炊き



▼パン作り



- ①家や施設などの自分が所属している場所の役に立つ活動
- ②地域社会や人の役に立つ活動
- ③対価を得られる活動

●ケアスタ中町の 3種類の活動

年をとって、体が弱ってくると、受け身になり自分から動くことが少なくなります。そして、支えられることへの申し訳なさや自分の役割がなくなったり喪失感で、自尊心が削られていきます。その回復のために、利用者ができることで、地域社会とのつながりや、役割を取り戻そうと考えています。

**支えられる側から
支える側へ**

●できないことを「してあげる」のは、単なる「お世話」
●できることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが「介護」

これまでの介護の課題
認知症や要介護になると、いろいろなことを制限されて、やってももらうことが当たり前になっています。「何かあつては困る」と活動するリスクは全て排除されてしまっています。これは、本当に望んだ姿なのでしょうが、ただ安全にいきるためだったら、部屋にいてじっとしているしかありません。

「うがい」出来るのもあるのです！



ご利用に関するご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！
☎0228-24-8456